

70周年事業を計画

通常総会 共同受注へ新事業推進

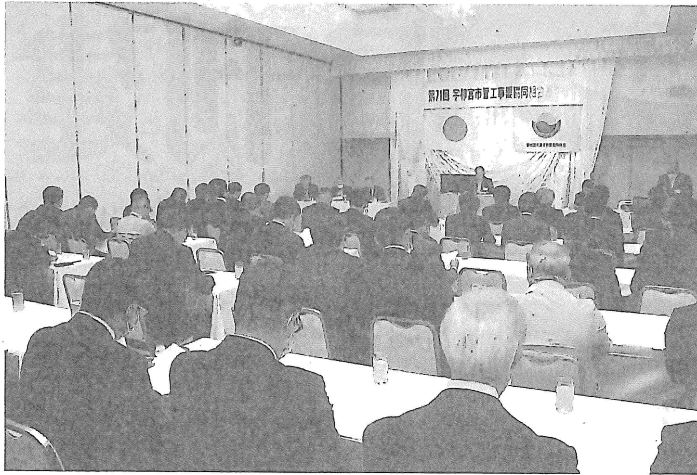
宇都宮市管工事業協組

宇都宮市管工事業協同組合(中村勝理事長)は5月26日、宇都宮市内のホテルで第71回通常総会を開催。組合員80人(委任状を含む)が出席し、2023年度事業計画・収支予算など3議案を原案通り承認した。事業計画では、共同購入・共同販売を推進するほか、安全・ハトールなど労働災害防止事業や研修会への参加指導などを行う。組合創立70周年記念事業も計画した。

22年度は、主要事業である資材の共同購買を著実に進めたほか、学校業務職員の「水廻り研修会



中村理事長



3議案を承認した総会

実施や宇都宮工業高校への教材用資機材の寄贈、県央産業技術専門学校生徒への「分水作業の実技指導」などの事業に積極的に取り組んだ。

最重要事業である資材販売事業については、組合員の協力により総額18億2200万円余と目標比145・8%の実績を収めることができたことを報告。協力に感謝した。

事業計画では、宇都宮市上下水道局の予算規模は対前年比2・5%増の206億5969万4000円を計上していることを伝えた。その上で、老朽排水管更新工事(延長1万8570延)をはじめ、今市浄水場や松田新田浄水場薬品注入設備等の更新工事、松田新田浄水場急速ろ過池耐震化工事、水道メーター取替工事(12工区)が予定されているとして、組合員の受注に期待した。

23年度の主な事業は①事業運営事業②共同購入

・共同販売の推進など②経営合理化および実務研修事業③安全・ハトール、分水作業実技講習会などの実施や、共同受注事業への取り組みに向けた体制作り③諸資格取得のための受講・受検指導

①1級・2級管工事施工管理技士講習会、試験など④組合創立70周年記念事業⑤総合防災訓練、記念式典とした。

中村理事長は「労働者不足や原材料価格高騰など、依然として厳しい状況が続いている。組合として引き続き資材販売事業にまい進することもに、工事の共同受注を目指す。新しい事業に取り組む。創立70周年を迎えることから、様々な記念事業や社会貢献事業に積極的に取り組むたい」とあいさつした。

総会の席では、永年勤続優良従業員30人の表彰も行った。受賞者は次の通り。(敬称略)
《永年勤続優良従業員表彰》

- 【勤続30年】
- ▽前川剛也(大塚産業)
- ▽大岩佳生(大塚産業)
- ▽羽石哲久(河内山工業)
- ▽伊藤縁(田中工業)▽福井孝洋(田中工業)▽手塚泰子(輝工業)

- 【勤続25年】
- ▽岩下勝彦(河内山工業)▽柿上由美子(河内山工業)▽福田博美(東栄理工)▽金敷雅光(ヤマカエンジニアリング)▽岡本明子(和気設備工業)

- 【勤続20年】
- ▽五十嵐佳仙(岡田設備工業)▽福田康貴(岡田設備工業)▽糸井和浩(輝工業)▽神山駒光(ヤマカエンジニアリング)

- 【勤続15年】
- ▽星野昌俊(コボリライフ)▽福田雅明(東栄理工)▽小山友伸(和田工業)▽石川祐太(和田工業)

- 【勤続10年】
- ▽山田智香子(コボライフ)▽菊地和也(シンエイ企業)▽木村裕一(シンエイ企業)▽塩澤諒太(田中工業)▽北條勝明(東栄設備工業)▽阿部裕判(東栄設備工業)▽岩間史雄(東栄設備工業)▽小堀雅俊(東栄理工)▽佐藤亮(水戸設備工業)▽津久井寛之(和田工業)▽小池伴和(和田工業)